

2023 劇場公演 ★開場は開演の20~30分前

TOKYO 東京

福生市民会館 つつじホール

東京都福生市福生 2455 番地 TEL:042-552-1711
Tokyo Fussa City Performance & Event hall

2/22 Wed 19:00~

★終演後トーク有

2/23 Thu 11:00~/15:00~

●トークイベント 12:45~13:15

チケット(自由席/日時指定/税込)
一般:前売 3,500円/当日 4,000円
学生:2,000円(前売、当日とも)
障がい者手帳をお持ちの方:2,000円



■助成/笹川日仏財団



FUKUOKA 福岡

クローバープラザ・クローバーホール

福岡県春日市原町 3 丁目 1-7 TEL:092-584-1212
Clover Plaza Clover Hall

2/27 Mon 19:00~

●トークイベント 17:30~

2/28 Tue 14:00~

チケット(自由席/日時指定/税込)
一般:前売 3,000円/当日 3,500円
学生:2,000円(前売、当日とも)
障がい者手帳をお持ちの方:2,000円



■共催/福岡県男女共同参画センター「あすばる」



■チケット予約・問合せ

☎ 050-3595-2200

日仏女性の人権架け橋 ミモザ実行委員会

予定変更の可能性がありますので、
最新の情報をウェブサイトでご確認ください。
<https://www.woman-engeki.com/>



●関連イベント

Kyoto アンスティチュ・フランセ関西 - 京都
2/17(金) 18:00~19:00

Tokyo 笹川日仏財団
2/20(月) 15:00~16:00

Fukuoka アンスティチュ・フランセ九州 - 福岡
2/24(金) 18:00~19:00

●朗読公演のお知らせ

2/23(木) 大阪府高槻市男女共同参画フォーラム
(クロスバル高槻8F)

6/30(金) 国際NGOプラン・インターナショナル
40周年記念(としま区民センター)



後援



在日フランス大使館 / アンスティチュ・フランセ日本 / パリテ・カフェ京都
ジェンダー平等推進機構 / ルネサンス・フランセス日本代表部
シニア女性映画祭 / ウィメンズ アクション ネットワーク

著作権代理 (株) フランス著作権事務所

共同プロデュース



企画製作 リボアルなみの RIVOAL Namino

主催 日仏女性の人権架け橋 ミモザ実行委員会

チケット販売



MIMOZA WAYS¹⁹¹⁰/₂₀₂₀

ミモザウェイズ——わたしたちの道

日本は憲法によって男女平等が保証されている。それなのに「女性は会議で発言が長い」と言われたり、医学部入試で点数が引かれていたり、そのようなジェンダーを理由にした差別が繰り返されているのはなぜだろう。そんなモヤモヤを抱えた現代の3人の女性たちが、1910年・1970年代にさかのぼり、女性の権利を知る旅に出る!



2020年代

2022年4月1日に結婚年齢が男女共に18歳になりました。1898年の法律制定

から2022年…計算してみよう! コロナ禍のバリのシャルル・ドゴール空港での3人の女性たちの偶然の出会いと衝撃的な過去...高祖母(おばあちゃんのおばあちゃん)たちが友達だった?!

1910年代

青鞥って? ブルースッキング? 編み物の本?



“元始、女性は太陽であった。今、女性は月である”平塚らいてうの言葉ではじまった。女性作家による、女性のための文芸誌。彼女の登場で、まさに新しい女性の時代が到来した。女性が筆を走らせ、男性は震えた!



1970年代

学生運動の中から誕生したウーマン・リブ運動。「便所からの解放」という田中美津のビラは全国の女たちに衝撃を与えた。自分たちの身体について決定権をもち、自分の生き方を自分で選ぶと声を上げた。女が性に目覚め、男は尻に火が付き怖気付いた!

*

演劇でジェンダー平等社会へ!

赤松良子(元文部大臣 国際女性の地位協会名誉会長)

演劇という表現を通じて、青鞥から女性差別撤廃条約選択議定書まで、日本の女性たちのジェンダー平等へ向けての歴史を紐解いており、これが赤松先生のおっしゃる「長い列」なのだと思感しました。 山下泰子(国際女性の地位協会名誉会長)

時代は変わっても、女性が直面する課題は驚くほど似ています。でも、この劇に登場する女性たち、そして名もない多くの女性たちの奮闘で、少しずつ道が開かれてきたことが実感できます。演劇からパワーをもらいました。 三浦まり(上智大学教授)

応援しています!

池上清子(国際NGOプラン・インターナショナル 理事長)

映像を駆使した美しい舞台、歌と踊りがとり入れられた躍動感の溢れた芝居の展開、とととと仕掛けられた笑いを誘う言葉や仕草等々、とてもよかったです。 石田久仁子(翻訳家)

日仏女性の人権架け橋 ミモザ実行委員会について

ミモザ実行委員会は、フランスにおいて女性の権利をテーマにした舞台で高い評価を得ているトリニダード・ガルシアと、日本女性の権利獲得の歴史を舞台化。2022年2月に初公演。これまで京都国際写真祭・パリテ・カフェトークイベント、京都精華大学、明治大学での講演、アンスティチュ・フランセ関西・稲畑ホールのスタンドアップ公演、国立女性教育センターNWECフォーラムのオンライン朗読を開催。 woman-engeki.com



脚本・演出
トリニダード・ガルシア
TRINIDAD
女優・劇作家・演出家

フランスのパリ・コメディ・バステューユ劇場や、全国ツアーで舞台上演を行っています。人の秘められた心と家族の物語を突き詰めることに情熱をもち、女性の権利に関わってきています。フェミニズムとは、より良い社会のために、男女が一緒に前進させるためのものだと考え、思いを継承するための手段として、ユーモアを選んでいきます。この舞台製作の目的は、なりたいたいと思う女性像を演劇の中に登場させること。対立ではなく、共に前進するための解決策を見つけることです。

<https://www.trinidad-g.com/>



通訳・演出補佐
竹中香子 TAKENAKA Kyoko

日本人としてはじめてフランスの国立高等演劇学校の俳優セクションに合格し、2016年フランス俳優国家資格、2021年フランス演劇教育者国家資格を取得。フランス国立劇場を中心に多数の舞台に出演。フランスの演劇教育や俳優のハラスメント問題に関するワークショップを行う。主な最近の出演作に、市原佐都子作・演出『Madama Butterfly』、『Madame Chrysanthemum』、太田信吾作・演出『最後の芸者たち』。2022年度KIAクレジデンスアーティストとしてフランソワ・グザビエール・エと共同執筆中。創作現場における日仏通訳を多数受け持つ。

<https://mill-co-run.com/>

CAST



柳田ありす

YANAGIDA Arie



中谷和代

NAKATANI Kazuyo (ソノチ)



黒木陽子

KUROKI Yoko (劇団衛星/ユニット美人)



カルドネル ルウ

CARDONNEL Lou

STAFF

脚本・演出 | トリニダード・ガルシア

脚本協力 | 黒沢久子

監修協力 | 進藤久美子、石田久仁子、三木草子

通訳・演出補佐 | 竹中香子

ドラマツルグ | 菅野優香

舞台監督 | 北方こだち

照明プラン | 木内ひとみ

音響プラン | 道野友希菜

衣装 | 川口知美

映像 | 福岡想

制作 | 渡邊裕史 (ソノチ)

制作補佐 | 鯨エマ (東京)

受付 | 高橋知美 (キューズリンク) [福岡]

制作助手 | 永澤萌絵

翻訳・監修 | リボアルなみの

上演台本翻訳協力 | 山上優、カルドネルルウ

翻訳 (英語) | Ruth Win、レベッカ・ジェニスン

ジェニファー・ティーター

顧問 | レベッカ・ジェニスン、山家悠平、コザ・アリーン

宣伝美術 | m9design.inc